



3 主な取組

視点1 生活と自然が調和する豊かな暮らし空間の創生

取組名	快適な暮らし空間の実現	担当課名	住まいづくり課
目的 (何のために)	生活と自然が調和した地域コミュニティの形成や景観に配慮した快適で広い暮らし空間の実現に向け、「豊かな暮らし空間」の魅力の周知を図るとともに、住宅関係事業者等に対し支援を行います。		
取組内容 (手段、手法など)	取組1：豊かな暮らし空間創生住宅地の認定 (P.35参考資料)		
	(1)豊かな暮らし空間創生住宅地認定制度		
	豊かで美しい暮らし空間の実現を目指す取組のひとつとして、「自然との触れ合い」、「家族との団らん」、「地域とのつながり」などの要件を満たす住宅地の計画を認定する制度。(認定実績：10団地360区画)		
	項目	要件	
	1. 生活する空間の充実 (暮らし空間倍増)	暮らし空間が「家」の2倍以上の面積を有すること	
2. 住宅地としてゆとりのある空間の形成 (壁面後退)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路境界線から5m(コミュニティ道路※³の場合は1m)壁面を後退させること ・隣地境界線から1m壁面を後退させること 		
1. 良好な住環境の形成 (外構や建物の配慮)	<ul style="list-style-type: none"> ・庭を緑化すること ・建築物の色彩を地域で調和させること ・建築物の高さを抑えること など 		
2. 良好な住環境を 持続させる仕組み (維持管理体制)	基準を遵守し良好な住環境を維持するための組合、運営委員会等を組織すること		
			
認定住宅地			

(2) 豊かな暮らし空間創生事業費補助金

認定基準を満たす住宅地の開発における公共施設部分の整備に対する補助制度。

項目	内容
対象区域	・静岡県が指定する「ふじのくにフロンティア推進区域」 ・市町が設定する「ふじのくにフロンティア新拠点区域」 ・市町が設定する「ふじのくにフロンティア地域循環拠点区域」
対象者	事業者に補助する市町（政令市を除く）
要件	「豊かな暮らし空間創生住宅地」の認定基準を満たすもの
対象事業費	事業者が行う道路、公園等の公共施設の整備に対し、市町が補助する経費（整備後に市町が所有・管理する部分）
補助率	1 / 2
限度額	10,000千円

取組2：美しいいえなみ整備事業への助成

(1) 制度概要

ゆとりや潤い、安らぎのある景色がつけられ、心の豊かさを感じられる暮らしを実現するため、既成の住宅地における道路に面する部分の生垣等の緑化に対して市町と協調して補助し、安全で美しいいえなみに誘導する。

対象区域	全域
対象者	事業者に補助する市町（政令市を除く）
対象事業費	道路に面する生垣・フェンス等の設置費
補助率	2/3（県 1/3、市町 1/3）
制度創設市町	東伊豆町、富士宮市、富士市、藤枝市、袋井市

視点2 働き方、暮らし方の変化への対応

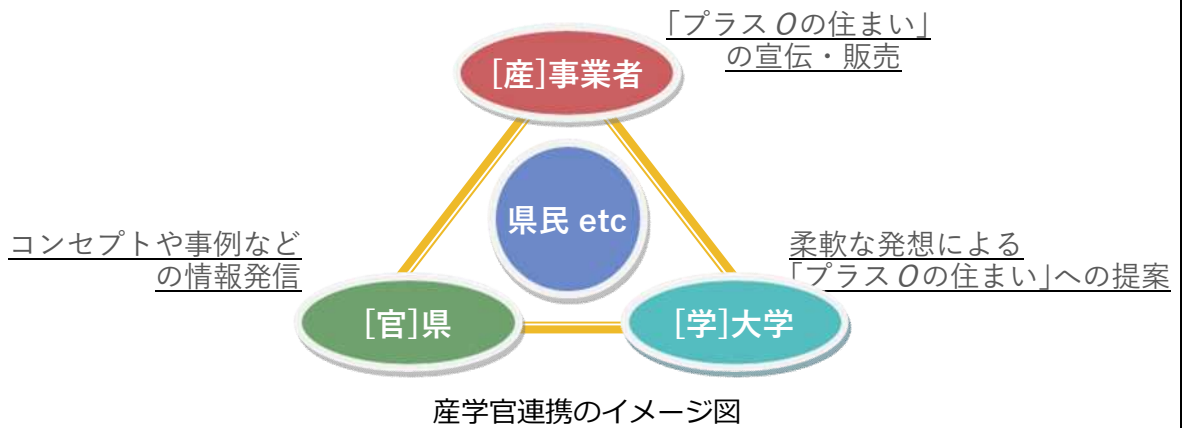
取組名	静岡らしい自然豊かでゆとりある職住一体の住環境整備	担当課名	住まいづくり課
目的 (何のために)	新しい生活様式に対応した静岡らしい自然豊かでゆとりある職住一体の住環境の整備に産学官が連携して取り組み、県民の豊かさの向上と県外からの移住者の増加を目指します。		

取組1：「プラス0(オー)の住まい」の普及

(1) 産官学の連携による「プラス0の住まい」の普及
産学官の役割

区分	役割
【産】 県内事業者	プラス0モデルハウス事業 ・民間事業者の協力により、「プラス0モデルハウス」を建設 ・協力企業の募集 → アドバイザーの派遣 → 完成見学会の開催
【学】 静岡文化芸術大学	県内各地における住まい方の研究 ・静岡文化芸術大学の学生の柔軟な発想により、県内の住まい方を提案
【官】 静岡県	テレワーク対応リフォーム補助制度の実施 ・住まいと仕事が両立した住環境を推進するため、テレワーク対応リフォームへの補助制度を実施

※「プラス0(オー)の住まい」の0は「Office」の略



(2) 令和3年度の取組

① ロゴマークの作成

県、民間事業者がチラシやホームページなど様々な広報に活用するため、ロゴマークを作成し、令和3年10月から使用開始

② 静岡文化芸術大学によるコンセプト等の作成

静岡文化芸術大学が「プラス0の住まい」のコンセプト等を作成。令和3年12月末に学生が来庁し、知事に成果を報告



<コンセプト提案>

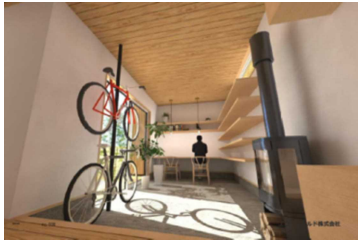

住まい + ^{プラス}Office = 移(住)・職(能)・住(生活)

コンセプト	構成要素
①静岡ならではの特性	豊かな自然、広い土地 等
②地域に根差したデザイン	地域性、風土、歴史、産業 等
③借景(遠・中・近景)の取込み	富士山、南アルプス、浜名湖 等
④仕事のある住まいの動線配慮	オンオフの切替え、気分転換、子育て等
⑤ 高度なオフィス環境	音、素材、家具、空間、通信環境等

(3) 令和4年度の実施

- ① モデルハウスによる実体験
- ② 学生ワークショップ開催
- ③ 専用サイト開設、パンフレット、ポスターによる普及・啓発

<モデルハウス建設計画>

企業名	エコフィールド(株)	大河原建設(株)
建設地	富士市比奈	島田市向島町
完成予定	令和4年6月	令和4年8月
イメージ		
備考	庭に隣接した土間空間でのテレワークスペース、ZEH、V2H設備、雨水利用	「豊かな暮らし創生住宅地」

取組2：テレワーク対応リフォーム補助の実施 (P.36 参考資料)

(1) 制度概要

区分	主な内容			
補助制度	区分	内容		
	補助要件	既存住宅におけるテレワークスペースの確保		
	対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・上記リフォームに要する費用(机の作り付け、間仕切り壁等の新設) ・「新しい生活様式」に対応する改修費用(感染予防、省エネ、家事負担軽減のための設備等) 		
	補助率	1/2(上限350千円)+県産材加算(上限140千円)		
令和2年度	<事業費 167,000千円> 実績 563件			
令和3年度	<事業費 211,000千円> 実績 646件			
令和4年度	<事業費 300,000千円> 予算 1,000件			
	区分	申請受付期間	件数	
	一般募集	1期	R4.5.10 ~ 6.24	400件
		2期	R4.7.1 ~ 8.25	400件
		3期	R4.9.1 ~ 11.30	140件程度
対象者限定募集※	R4.5.10 ~ R5.2.15	60件		
※①移住する方、②空き家を活用する方、③耐震対策を行う方は申請受付期間を通年に設定				

<一般募集>
R4テレワーク対応リフォーム補助制度

【重要】以下の3期に分けて募集します。

	1期募集	2期募集	3期募集
申請期間	令和4年5月10日～6月24日	令和4年7月1日～8月25日	令和4年9月1日～11月30日
事業完了期限	令和4年11月15日	令和4年12月15日	令和5年1月15日
件数	400件	400件	140件程度

①テレワーク対応リフォーム **必須工事**
机の作り付け 又は 間仕切り壁等の新設

②新たなライフスタイル対応リフォーム ※②のみの申請不可
感染予防・家事負担軽減 換気・省エネ など

補助金 **最大 35万円 (1/2補助)**

③しずおか優良木材等補助加算
テレワーク対応リフォームに併せて、さらに補助金を加算します

	使用量	10㎡以上
補助単価	3,500円/㎡	
上限額	14万円	

申請期間：1期から3期募集のうち、いずれか
※申請受付は先着順。予算がなくなり次第、終了となります。

提出方法：オンライン申請
申請先：一般財団法人静岡県建築住宅まちづくりセンター

申請はこちら
QRコード

<対象者限定募集>
R4テレワーク対応リフォーム補助制度

【重要】令和4年度中に、以下の3つの型のいずれかに該当する方のみ対象です。

移住者型 静岡県へ移住する方
空き家型 空き家バンクの物件を購入or貸借する方
耐震対策型 耐震対策を併せて行う方

①テレワーク対応リフォーム **必須工事**
机の作り付け 又は 間仕切り壁等の新設

②新たなライフスタイル対応リフォーム ※②のみの申請不可
感染予防・家事負担軽減 換気・省エネ など

補助金 **最大 35万円 (1/2補助)**

③しずおか優良木材等補助加算
テレワーク対応リフォームに併せて、さらに補助金を加算します

	使用量	10㎡以上
補助単価	3,500円/㎡	
上限額	14万円	

申請期間 令和4年5月10日～11月30日 12月1日～令和5年2月15日

申請先 一般財団法人静岡県建築住宅まちづくりセンター 静岡県くらし・環境部 建築住宅局住まいづくり課

提出方法 オンライン申請 ※申請受付は先着順。予算がなくなり次第、終了となります。

(2) 補助実績

(ア) 補助件数等

平均補助金額：約 27 万円（県産材加算含む。）

地域	R 2実績 ※ 1		R 3実績 ※ 2			
		県外居住者	県産材加算		県外居住者	県産材加算
東部	134 件	2 件 (東京・愛知)	20 件	159 件	2 件 (神奈川・東京)	15 件
中部	201 件	0 件	19 件	263 件	0 件	22 件
西部	228 件	0 件	28 件	224 件	1 件 (愛知)	9 件
計	563 件	2 件	67 件	646 件	3 件	46 件

※ 1 令和 3 年 2 月 5 日申請受付終了(申請受付期限 2 月 26 日)

※ 2 令和 3 年 6 月 16 日申請受付終了(申請受付期限 9 月 30 日) (当初受付分)

(イ) 事後アンケート結果 (R 3 年度)

補助利用者に事後アンケートを実施している。アンケートの結果は下表のとおり。アンケートからはテレワークの環境整備に効果があったことが確認できる

自宅のテレワーク環境で不満なこと

- ・ 仕事専用スペースがない …31%
- ・ 一人で集中するスペースがない…25%
- ・ オンオフの切り替えがしづらい…17%
- ・ WEB 会議可能なスペースがない …14%
- ・ 遮音性が低い …7%
- ・ 子どもを見つつ仕事可能なスペースがない…7%

リフォーム後に不満が解消されたか

不満は解消された …96%

利用者の声

- ・ 個人のスペースを確保でき、子供のオンライン授業と重なっても心配がなくなった。
- ・ プライベートの本や書類とごちゃごちゃしなくなった事。PC をその場に置いておけること（食事の度に移動させなくても良い）で仕事が楽になった

視点3 空き家等の活用と適正管理

取組名	空き家の利活用の促進	担当課名	住まいづくり課
目的 (何のために)	県は、市町、民間団体と連携して、空き家対策に取り組みます。また、県版空き家バンクを創設し、広くて優良な空き家を掘り起こすとともに、空き家の建物状況調査や空き家への移転を支援することで空き家の利活用の促進を図ります。		

取組1：県版空き家バンクの創設

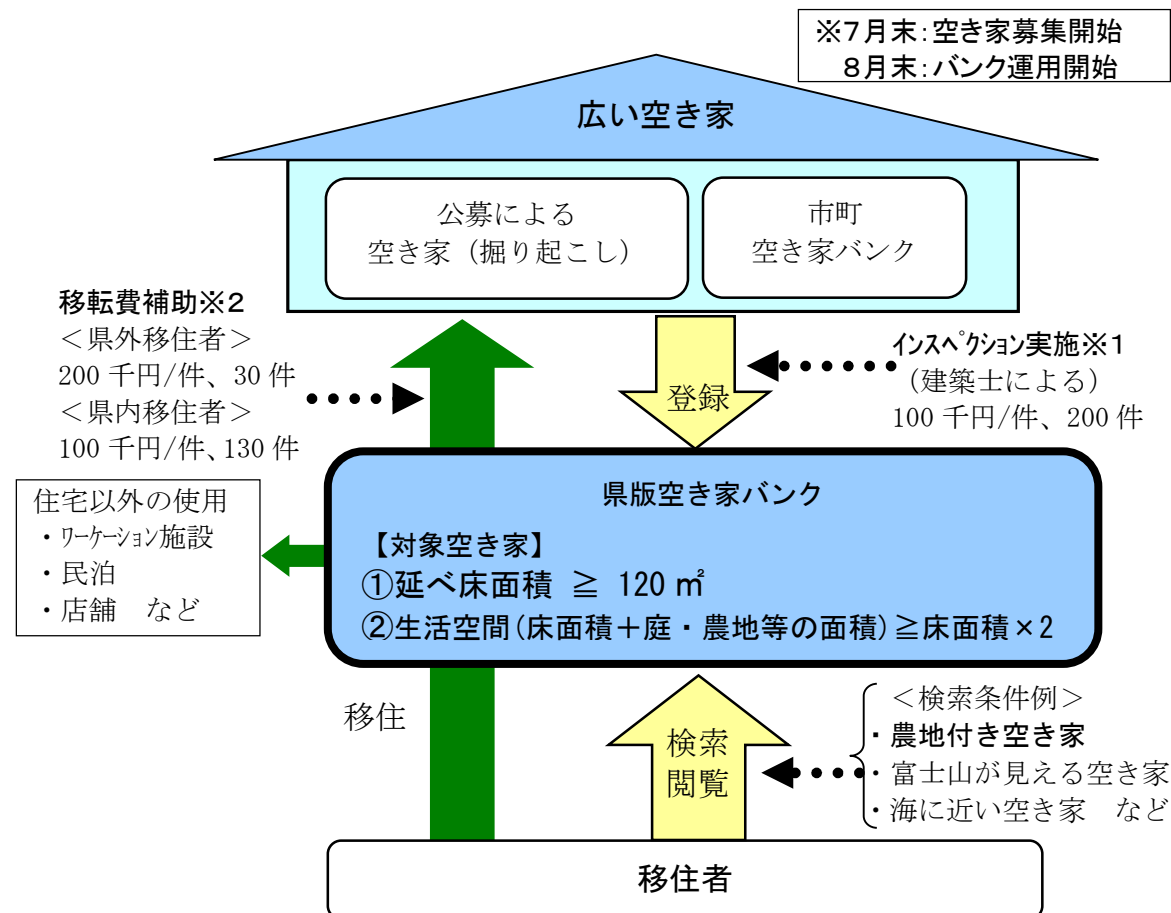
(1) 目的

増加する空き家を有効活用し、広い空き家への住み替えを促進させるため、空き家のマッチング支援と空き家への移転支援を実施し、世帯規模と住宅規模のミスマッチの解消と消費の拡大を図るとともに、都市圏からの移住の促進に取り組む。

(2) 県版空き家バンクの概要（令和4年度当初予算額 45,938 千円）

県版空き家バンクを創設し、市町や関係団体と連携して市場に流通していない空き家を掘り起こすことによって、広い空き家への住み替えを促進させる。

取組内容（手段、手法など）



※1 雨漏りやシロアリ被害の状況などのインスペクション（建物状況調査）を実施し、建物の状況を明確化させ、安心して購入（借用）することができる。




※2 県版空き家バンクに掲載されている空き家への移転を条件に、移住に伴う転居費用の一部を支援する。

取組2：その他の空き家対策 (P.37 参考資料)

(1) 令和4年度の空き家対策 (令和4年度当初予算額 7,200 千円)

区 分	内 容
住宅ストック活用促進研修会等の開催	○住宅ストック活用促進研修会（事業者向け研修会）の開催 ○我が家の終活セミナー（県民向けセミナー）の開催
空き家に関するワンストップ広域相談会の開催	○ワンストップ広域相談会の開催 県内 14 会場及び県外在住者を対象にオンライン相談会
	○相談会参加者のうち、解決に至っていない空き家所有者等を対象としたフォローアップの支援
空き家出前講座	○空き家の増加が懸念される分譲住宅団地の住民等を対象とした出前講座の開催
空き家問題相談員育成事業	○市町職員を対象とした講習会の開催
静岡県空き家対策推進協議会の発足 (R4.7 予定)	○不動産、司法書士、行政書士、税理士、建築士の各関係団体との連携体制の構築

視点4 移住希望者への効果的な情報発信

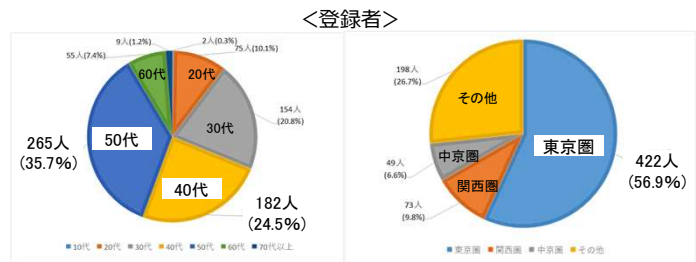
取組名	本県で実現可能な多彩なライフスタイルをHPやSNS、イベント、セミナー等で発信	担当課名	くらし・環境部企画政策課	
目的 (何のために)	働き方や暮らし方の多様化が進む中、本県でテレワークをしている移住者や自然豊かな環境でのびのび子育てをしている移住者の暮らしぶり等を効果的に情報発信していきます。			
取組内容 (手段、手法など)	取組1：HP、SNSによる情報発信 (P.38 参考資料)			
	(1) 移住・定住情報サイト「ゆとりすと静岡」による情報発信			
	移住・定住情報サイト『ゆとりすと静岡』では、仕事や住まい、支援制度の情報のほか、移住までのステップや先輩移住者の声など、様々な情報を掲載しています。			
	ターゲット	静岡県への移住を検討中の方		
	開設	平成19年度		
	掲載内容	イベントのお知らせ、仕事・生活環境に関する情報及び問合せ先、市町紹介、市町空き家バンク等の掲載、県及び市町の支援施策 など		
		住まい	暮らし	先輩移住者の声
		空き家バンク、物件情報等 	東京との比較、子育て情報等 東京との比較 	多様なライフスタイルを紹介 
		(2) SNS(LINE) を活用した情報発信		
		移住相談会やセミナーなどのタイムリーなイベント情報、県庁内に配置した移住コーディネーターの取材記事などを週1回、配信しています。登録者への一斉配信のほか、年代や居住地域などの登録情報をもとに、ターゲットを絞った配信も行っています。		
開設	令和3年9月27日			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・移住検討者向けの情報をタイムリーに発信 ・ホーム画面上のリッチメニューから「ゆとりすと静岡」の各ページに直接アクセスが可能 ・配信内容：イベント情報、移住者インタビュー、サテライトオフィスを始めとした話題のスポットなど ・配信回数：週1回程度 			

9-1 魅力的な生活空間の創出

9-3 人の流れの呼び込み



「ゆとりすと静岡」の各ページにアクセス



- ・登録者数は1,204名。その内アンケート回答者は742名 (R4. 3. 31現在)
- ・アンケート回答者の居住地は東京都、神奈川県がそれぞれ100名以上
- ・アンケート回答者の年代は、40代、50代が多く、約6割を占める

取組2：多様な働き方・暮らし方の提案

(P.39 参考資料)

(1) 多彩なライフスタイルをテーマにしたセミナーの開催

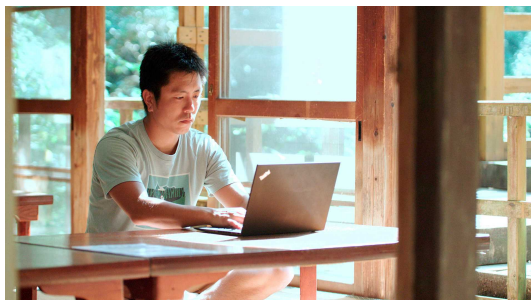
本県で実現可能な、様々なライフスタイルをテーマにしたセミナーを対面やオンラインで開催しています。



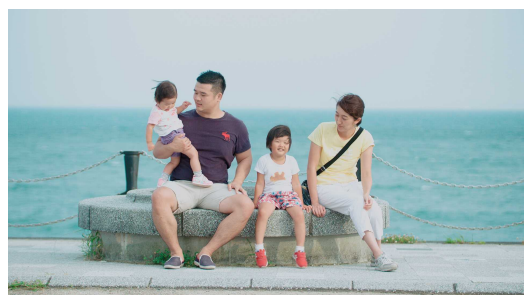
【6月のセミナー】

(2) 先輩移住者の動画を作成

本県でテレワーク等しながら魅力的なライフスタイルを実現している先輩移住者を取材して動画を制作し、大都市圏に向けて情報発信を行っています。



【移住してシェアオフィスでリモートワーク】



【豊かな環境で子育て】

視点5 県、市町、関係団体が一体となった移住の促進

取組名	相談体制の充実と地域の受入態勢の強化	担当課名	くらし・環境部企画政策課
目的 (何のために)	「静岡県移住相談センター」をはじめ、市町、地域団体等が連携して、相談者一人ひとりの意向に添ったきめ細かな対応を行います。また、県、市町、地域団体等で構成する「ふじのくにに住みかえる推進本部」で、取組事例の情報共有や移住促進に取り組む担い手の育成等を図り、移住検討者の本県への移住実現につなげていきます。		

取組1：相談体制の充実

(1) 静岡県移住相談センターでの相談対応

移住希望者がワンストップで気軽に相談できる窓口として、東京有楽町に『ふじのくにに住みかえる』静岡県移住相談センター」を運営しています。常駐する就職相談員や市町担当者と連携した相談も行っています。また、県内における相談対応と受入態勢を強化するため、県庁内に移住コーディネーターを令和3年度から配置しています。

< 県移住相談センター(東京) >



移住相談員 と 就職相談員

< 県移住相談センター(県庁内) >



◆業務内容◆

- ・市町、地域団体の収集・発信
- ・県内でのワンストップ相談窓口
- ・移住検討者の伴走支援

場 所： ふるさと回帰支援センター内
 (東京都千代田区有楽町2-10-1)東京交通会館8階
 連絡先： 03-6206-3858 shizuoka@furusatokaiki.net
 時 間： 10:00~18:00(月曜・祝日休)

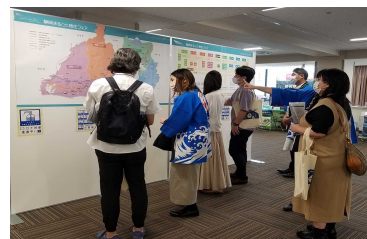
場 所： 県くらし・環境部企画政策課内
 (県庁西館6階)
 連絡先： 054-221-2610 iju@pref.shizuoka.lg.jp
 時 間： 9:00~17:00(土日祝休)

取組内容(手段、手法など)

(2) 移住相談会「静岡まるごと移住フェア」の開催

県、市町、関係団体等が一体となり、首都圏等へ静岡県の魅力を発信するため、東京で全県規模の移住相談会を実施しています。併せてオンラインでの相談も行っています。

主 催	ふじのくにに住みかえる推進本部
R4 開催時期	①7月30日(土) ※「静岡まるごと就職フェア」と同日開催 ②1月29日(日)
手 法	対面2回 ※東京交通会館で開催予定 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、開催方法変更も検討)
内 容	・市町移住相談 ・住まい・仕事相談 ・セミナー等



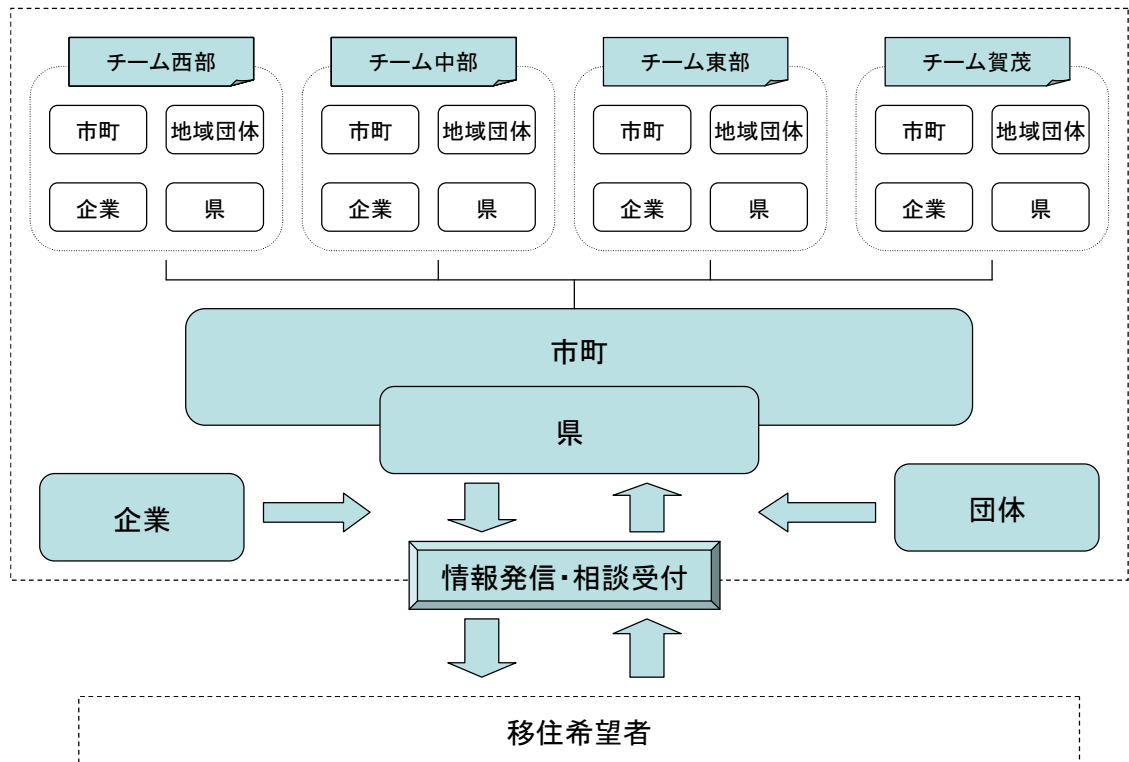
取組2：官民一体の取組による地域の受入体制態勢の強化 (P.40 参考資料)

(1) 「ふじのくにに住みかえる推進本部」を設置し、官民一体となり移住を促進

国、市町、地域団体、企業の96団体で構成する「ふじのくにに住みかえる推進本部」を設置して、移住相談会・セミナーの開催、仕事や住まい、市町の支援制度等の情報発信など、連携を図りながら移住の促進に取り組んでいます。

県(1)	副知事(本部長)、関係部局長
市町(35)・国(1)	全市町(副市長、副町長)、静岡労働局
全県団体(13)	不動産関係団体、農業振興公社、金融機関など
地域団体(46)	NPO法人、民間企業(不動産、住宅、人材派遣)など

ふじのくにに住みかえる推進本部 ～官民一体による移住・定住の促進～



(2) 地域の受入態勢の充実

移住・定住を促進するため、推進本部全体会で移住に関する、その時々々の動向を知り、また、構成員で取組事例などを情報共有しています。また、市町の移住担当者や移住コーディネーターなどを対象に「移住支援スキルアップ研修」を行っています。

ふじのくにに住みかえる推進本部全体会

対象	ふじのくにに住みかえる推進本部構成員
内容	○基調講演 ○取組事例発表 ○情報提供 等



(R3移住支援スキルアップ研修の様子)

移住支援スキルアップ研修

回数	年3回(6,8,11月予定)
対象	市町移住担当者、移住コーディネーター、ふじのくにに住みかえる推進本部員 等
内容	○講演 全国の移住の動向 効果的な伴走支援 他県の優良事例、失敗事例 等 ○ワークショップ 移住相談ロールプレイング 効果的な情報発信のポイント 相談事例研究 等

4 主要事業

事業名	重点項目	2022 予算額(千円)
豊かな暮らし空間創生事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地開発事業費助成 ・安全で美しいいえなみ整備事業費助成 	12,400
「プラス0(オー)の住まい」推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ツール作成（パンフレット、ポスター、ホームページ） ・アドバイザー派遣 ・プラス0学生会議 	3,000
ふじのくにライフスタイル創出住宅リフォーム事業費助成	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク対応リフォーム補助 ・テレワーク対応リフォームと同時に実施する感染対策、省エネ等に関するリフォーム補助 	300,000
空き家活用促進事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・県版空き家バンク創設 ・空き家に関するワンストップ広域相談会の開催 ・空き家出前講座など 	53,138
ふじのくにに住みかえる推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> <情報発信> <ul style="list-style-type: none"> ・Webサイト「ゆとりすと静岡」やSNSの活用 ・動画の制作 ・広報ツールの更新 <相談対応> <ul style="list-style-type: none"> ・全県規模の移住相談会の開催 ・ふじのくにに住みかえるセミナーの開催 ・静岡県移住相談センターの運営 <受入態勢> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくにに住みかえる推進本部の運営 ・地域おこし協力隊研修会等の開催 	54,027
ふじのくに移住・就業支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・移住就業支援金制度の実施 ・東京圏の人材と県内の中小企業等のマッチング支援 	158,400
その他取組を含めた合計		580,965

視点1 生活と自然が調和する豊かな暮らし空間の創生

関連資料

<豊かな暮らし空間創生住宅地>

(1) 豊かな暮らし空間創生住宅地の認定状況

認定番号	認定年度	住宅地の名称	所在地	規模	状況	開発事業者	ふじのくに フロンティア 推進区域	宅地開発 事業費助成 (県費+市町費)
第1号	H26	しまだあさひ ガーデンプレイス	島田市 旭	約0.7 ha 22 区画	分譲中	民間	×	—
第2号	H26	クルドサック16	小山町 藤曲	約0.5 ha 16 区画	分譲完了	行政	○	—
第3号	H27	サンステージ 向山(王の郷)	三島市 北沢	約2.0 ha 64 区画	分譲完了	民間	○	40,000 千円 ※
第4号	H28	星空の郷 御殿場高原・堀金	御殿場市 印野	約0.3ha 8 区画	分譲完了	行政	○	—
第5号	H28	箱根西麓 プラスフィールズ [®]	三島市 市山新田	約0.5ha 11 区画	分譲完了	民間	○	20,000 千円 (H28→H29 繰越)
第6号	H29	三島市大場 あこう田園	三島市 大場	約0.9ha 19 区画	分譲完了	民間	○	20,000 千円
	R2	同上	同上	約0.2ha 5 区画	分譲完了	民間	○	—
第7号	H29	あしたの杜	富士市 川成島	約3.2ha 99 区画	分譲中	民間	○	—
第8号	H30	三島塚原優良田園住宅 桜郷里	三島市 塚原新田	約3.7ha 70 区画	分譲中	民間	○	40,000 千円 ※ (H30→H31 繰越)
第9号	R3	おかのみやタウン	沼津市 岡宮	約0.4ha 15 区画	分譲中	民間	×	—
第10号	R3	しまだみそら ガーデンプレイス	島田市 向島町	約0.9ha 31 区画	分譲中	民間	×	—
計				約13ha 360 区画	計		120,000 千円 (県40,000 千円)	

※三島市は、50 区画を超える宅地開発には、40,000 千円を助成

視点2 働き方、暮らし方の変化への対応
 <テレワーク対応リフォーム>

関連資料

(1) 新たなライフスタイル対応リフォーム工事の種類別申請割合

区分	感染予防 (抗菌壁紙への張替えなど)	省エネ (内窓や断熱材の設置など)	家事負担軽減 (掃除しやすいトイレへの取替えなど)
R 2	約 3 割	約 2 割	約 4 割
R 3	約 4 割	約 2 割	約 4 割

(2) 実績例 (R 2 年度)

	概要	施行前	施工後
①	床の間を利用しデスクを新設 ・自己負担：7.5万円 ・工事費 15万円 (デスク部分のみ)		
②	明るい基調の板を用いてテレワークデスクと収納棚を設置 ・自己負担：12.5万円 ・工事費 25万円		

視点3 空き家等の活用と適正管理 関連資料
 <空き家に関するワンストップ広域相談会>

(1) 令和3年度の開催実績

開催日	開催箇所 (市町)	会場	相談者 数(組)	相談件 数(件)
令和3年9月4日(土) 令和4年1月15日(土)	熱海市	熱海市役所 中止	0	0
	島田市	島田市役所	4	9
令和3年9月11日(土) 令和4年1月29日(土)	富士宮市	富士宮駅前交流センター 中止	0	0
	焼津市	焼津公民館 中止	0	0
令和3年10月2日(土)	富士市	富士市勤労者総合福祉センター	14	17
	藤枝市	藤枝市役所	14	22
令和3年10月23日(土)	オンライン		5	15
令和3年11月6日(土)	牧之原市	牧之原市役所榛原庁舎	6	12
	磐田市	総合福祉会館	7	13
令和3年11月20日(土)	オンライン		1	4
令和3年12月4日(土)	御殿場市	御殿場市民会館	13	19
	森町	森町町民生活センター	6	12
令和3年12月11日(土)	オンライン		5	15
計			75	137

(2) 専門家と対応相談項目

相談内容	専門家	協力団体
取得、賃貸、売買	宅地建物取引士	(公社) 静岡県宅地建物取引業協会 (公社) 全日本不動産協会静岡県本部
税金	税理士	東海税理士会
相続、権利	司法書士	静岡県司法書士会
リフォーム・解体	建築士	(公社) 静岡県建築士会
老朽空き家等	行政	県、開催市

(3) 相談会の様子



藤枝市開催の様子



森町開催の様子

<情報発信>

(1) ゆとりすと静岡の主なコンテンツ

項目	主な内容
トップページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「移住を考え始めた人」、「移住候補地のことを詳しく知りたい人」向けの入口 ・静岡県移住相談センターの紹介 ・あなたにピッタリな移住先検索
仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・就職、転職、就農等の農林漁業の問い合わせ先 ・地域おこし協力隊
住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・民間物件検索サイト ・市町空き家バンク情報 ・住まいお役立ち情報
暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都との比較 ・医療・福祉、子育て・教育・文化、観光情報、交通情報、金融機関
先輩移住者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者インタビュー記事
静岡県・市町の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全県、各地域の特徴 ・各市町のPRポイント、人口やアクセス等の基礎情報、買い物等の生活環境、相談窓口
支援制度	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町の支援制度（一覧表、検索機能付き、市町が投稿・編集可能） ・県、民間・地域団体の支援情報
相談員通信	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポット、イベント情報
お知らせ・イベント情報	<ul style="list-style-type: none"> ・県、市町、しずおか移住応援団からのお知らせ、移住関連イベント情報（市町、しずおか移住応援団が投稿・編集可能） ・地域おこし協力隊募集情報 ・移住・就業支援金制度 等
お問合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・移住全般、資料請求問い合わせフォーム ・メールマガジン登録フォーム
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・移住体験施設、地域団体 ・移住までのステップ、よくある質問 ・県、市町の移住PR動画 ・オンライン移住相談特設ページ 等

参考資料

(2) 多彩なライフスタイルをテーマにしたセミナー

○令和4年度計画

日程	テーマ等	実施予定市町等	参加者
6月26日(日)	海と暮らす。 ～静岡でマリンレジャーのある暮らし～	伊東市、御前崎市、牧之原市	7人
7月23日(土)	移住×就農<オンライン>	沼津市ほか	23人
8月28日(日)	静岡県西部の達人に聞く <オンライン>	西部地域局	—
9月4日(日)	移住・Uターンのフロントランナーが語る	地域産業課	—
9月17日(土)	子育て×ワーカー 伊豆での暮らし(仮)	賀茂地域ふれあい事業推進協議会	—
10月2日(日)	Jリーグチームがあるまちでの暮らし	中部地域局	—
10月8日(土)	ふじのくに静岡県で農業をはじめよう(仮)	農業ビジネス課	—
11月6日(日)	技 ～移住してもものづくりに携わる～ 静岡県×石川県(仮)	石川県、企画政策課	—
11月	静岡県で看護職として働く魅力(仮)	地域医療課ほか	—
12月4日(日)	静岡県の地域おこし協力隊(仮)	企画政策課	—
1月	林業&建設業(仮)	林業振興課、建設業課	—
2月5日(日)	地方で飲食店を開業するって、どうですか?(仮)	企画政策課	—
計			30人

○令和3年度実績

日程	テーマ等	実施市町等	参加者
6月26日(土)	ウェルカム!テレワーカー ～移住者が語る、沼津市・伊東市での新しい働き方と暮らし～	東部地域局、沼津市、伊東市	10人
7月24日(土)	海辺で暮らす。静岡移住セミナー	牧之原市、御前崎市	5人
7月25日(日)	海・山「好き」の働き方 しずおか林業・漁業セミナー	林業振興課 水産振興課(漁業高等学園)	9人
9月11日(土)	ウェルカム!子育てファミリー ～静岡市・藤枝市の移住者が語る子育てのリアル	静岡市、藤枝市、中部地域局	19人
10月2日(土)	移住×カッコイイ30代	中部地域局	12人
10月30日(土)	農業で独立したいあなたへ! ～本気の静岡県就農セミナー	農業ビジネス課	12人
11月28日(日)	プロに聞く ときめく空き家の見つけ方!	静岡県移住相談センター	17人
12月4日(土)	フリーランス直伝!富士山が見える 静岡県でかなえる自分らしい暮らし	西部地域局	16人
12月11日(土)	どばくっておもしろい!伊豆って最高! ～建設業と伊豆の魅力をお届けします	交通基盤部 建設業課	11人
令和4年 1月22日(土)	伊豆地域移住セミナー～伊豆でみつけた私の暮らし方	企画政策課 (賀茂地域ふれあい事業推進協議会)	12人
2月20日(日)	富士山のふもと暮らし移住セミナー	富士市(富士山NW)	32人
3月13日(日)	今こそ!静岡テレワーク移住!! ～新幹線がとまる三島市・富士市～	三島市、富士市、企画政策課	26人
計			181人

視点5 県、市町、関係団体が一体となった移住の促進
 <ふじのくにに住みかえる推進本部>

関連資料

(1) 構成団体

区分	団体名
県 (1)	静岡県
市町 (35)	全市町
国 (1)	静岡労働局
全県団体 (13)	(公社)静岡県宅地建物取引業協会、(公社)全日本不動産協会静岡県本部 (一社)静岡県都市開発協会、(公社)静岡県産業振興財団、(公社)静岡県農業振興公社、 静岡県事業引継ぎ支援センター、(株)静岡銀行、スルガ銀行(株)、(株)清水銀行、 (公社)静岡県看護協会、(株)日本政策金融公庫静岡支店、(独)住宅金融支援機構横浜センター (福)静岡県社会福祉協議会
地域団体 (46)	<賀茂地区> (8) NPO 法人伊豆の田舎暮らし夢支援センター、手むすびの会、NPO 法人伊豆未来塾、東伊豆 ECO ツーリズム協議会、NPO 法人伊豆自然学校、合同会社さとづくり総合研究所、伊豆いなか暮らし応援会議、NPO 法人ローカレザンネットワーク
	<東部地区> (22) NPO 法人里山会公文名ファイブ、ハートランド(株)、(有)ヒロヨシ、富士宮市稲子地区定住推進委員会、(株)サン・プランナー、(株)共同開発、NPO 法人 NPO サプライズ、キャパサービス、(一社)美しい伊豆創造センター、加和太建設(株)、住起産業(株)、(株)ミサワホーム静岡、大和ハウス工業(株)沼津支店、東レ建設(株)三島不動産事業部、(株)古藤田商店、富士宮市猪之頭地区活性化推進委員会、熱海 CCRC 連絡協議会、沼津市商工会、NPO 法人 Woman's サポート、(株) I P シンフォニー静岡支社、(一社)南富士山シティ、Antique door
	<中部地区> (11) (一社) 静岡県古民家再生協会、大川地域振興協議会、(株) T O K A I、NPO まちづくり川根、助宗ひだまり倶楽部、NPO 地域情報ポータルネット、相賀の里を良くする会、@TSUNA。(つなまる)、(株)Sweets Investment、静岡鉄道(株)、さとやママ

(2) 令和4年度 ふじのくにに住みかえる推進本部各チームの取組

地区	概要
本部	ふじのくにに住みかえる推進本部全体会
	静岡まるごと移住フェア
賀茂	賀茂地域ふれあい事業推進協議会
	ふじのくにに住みかえるセミナー
	伊豆南部移住説明会
	伊豆半島移住相談会
	出張相談会「伊豆南部デー」
東部	ふじのくにに住みかえる推進本部「チーム東部」
	オンライン移住相談会「東部地域 DAY」
中部	ふじのくにに住みかえる推進本部「チーム中部」
	ふじのくにに住みかえるセミナー
	ふじのくにに住みかえる推進本部「チーム西部」
	ふじのくにに住みかえるセミナー
西部	西部地域広域移住体験ツアー
	西部地域在住移住者のオンライン座談会